一般社団法人くらしサポート・ウィズ
東京都新宿区大久保2-3-4 出光新宿ビル4階
TEL:03-6205-6719
FAX:03-3200-6134
https://www.kurashidial.or.jp/

ウィズ レポート

Vol. 13　2026.10

2026 年度　上期　ダイジェスト

事業の概況

相談事業

相談件数に減少傾向が見られるものの、パルシステムとの連携で広報を強化。

➡詳しくは p.2 へ

居住支援事業

住まいに関する相談が増加。全居協の事務局は国土交通省との連携広がる。

➡詳しくは p.3 へ

若者支援事業

若い世代への協同の理念の啓発と就労支援などに取り組む。

➡詳しくは p.4 へ

お知らせ

事務所移転のお知らせ

2026 年 11 月 24 日より事務所を移転することになりました。詳しくは、**別紙「事務所移転の御案内」**をご参照ください。

移転先：新宿区大久保 2-2-12
VORT 東新宿 402 号室

オンラインでの寄付受付開始

新たなご寄付の方法を用意しました。**オンライン決済で簡単に**ご送金が可能です。私たちの活動にご賛同頂ける方は、ぜひご検討をお願いいたします。

➡詳しくは p.4 へ

総会報告

2026 年 6 月 6 日、パルシステム連合会東新宿本部にて第 10 回総会を開催いたしました。

今年は、法人設立 10 周年、前身組織である「生活サポート生協・東京」の創立から 20 年の記念すべき年です。

総会記念企画は、「協同～心と力をあわせてつないだ 20 年～」と題し、創立当時の世話人から 2025 年度まで役員を歴任された村上彰一さん（元・生活クラブ事業連合生活協同組合連合会会長）から、立ち上げの経緯などを振り返るご講演をいただきました。



講演で創立に込めた想いなどを語る村上彰一さん



当日は多くの関係者にご出席いただきました

（総会報告つづき）

講演に続いて、歴代役員らのスピーチがあり、弊法人の取り組みは、生協の公益的役割を広げていく重要なものであることが確認されました。また、関係者からの応援メッセージ、そして相談員を含めた職員からのご挨拶など、多様な立場の関係者が言葉を交わす充実した時間となりました。



（上段）登壇した歴代役員
（下段）メッセージを頂いた関係者・会員

相談事業

相談件数の概況

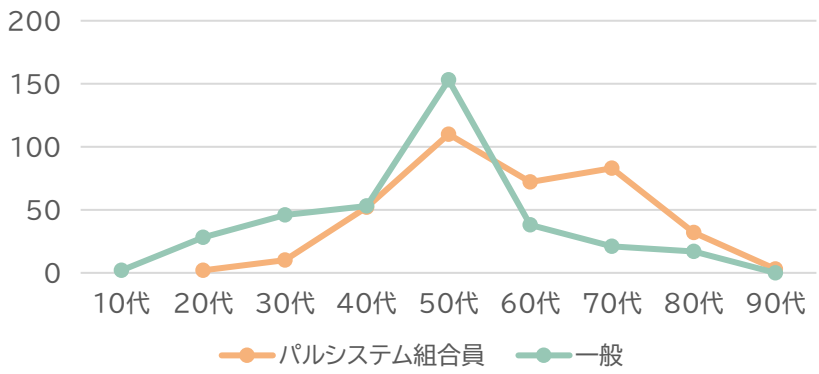
「くらしの相談ダイヤル」をはじめ、人間関係や生活にまつわるお悩みを幅広く受け付け、社会課題の解決に向けた取り組みを進めています。

2026 年 4 月から 9 月までの相談件数は 859 件（対前年度上期比 60.2%）、うち 52%がパルシステム組合員からの相談でした。内容としては、夫婦や親子、兄弟との関係などの相談が多くありました。娘と連絡が取れない、親との仲介を第三者に頼みたいなど、親子・親族の関係性の希薄化が垣間見えました。

年代別の相談状況

相談者の年代は、パルシステム組合員／組合員以外のいずれも、全体では 50 代が最も多く、全体では 36.4%を占めました。

年代別相談件数（2026 年4～9月）



広報連携強化について

前年度より相談件数が減少傾向にあることを受け、「くらしの相談ダイヤル」の WEB ページを刷新しました。また、パルシステム連合会やパルシステム東京に協力頂き、LINE 配信などの広報に力を入れました。



リニューアルした
くらしの相談ダイヤル
WEB ページは
こちらの
二次元バーコードから

その他企画等

離婚学習会やひきこもり女子会などは、パルシステム会員生協と連携して開催しました。



ひきこもり女子会は 10 月 30 日に開催

居住支援事業

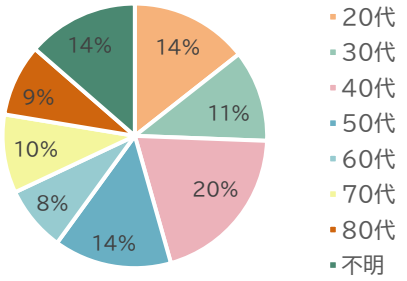
居住支援法人としての取り組み

東京都指定の居住支援法人として、住宅確保要配慮者の支援を行っています。また、パルシステム東京と共催で空き家相談を実施しています。

住まいに困った方の相談（居住支援）

上期の相談は、132 件（前年度 65 件）でした。20～40 代からの相談が約 4 割を占めており、住まい探しなどが若い世代にとっても課題となっています。

年齢層別 居住支援相談件数（2026 年4～9月）



空き家相談

今期、相談はありませんでしたが、引き続き取り組みを進めて参ります。



職員より

相談は幅広い世代から寄せられ、生活困窮や障害のある方、立ち退きの不安を抱える方からの相談が増えています。一人ひとりの課題に寄り添った支援を行いました。

パルシステム連合会「居住と就労」支援事業

パルシステム連合会「居住と就労」支援モデル事業のタスクのメンバーとして参画し、困難を抱える若者に対する、居住と就労支援モデルの担い手として、事業の一部を受託し取り組んでいます。

全国居住支援法人協議会（全居協）事務局

全国で活動する居住支援法人等の活動をサポート・促進する協議会の事務局を担っています。

上期は、定時社員総会（6 月 27 日）や定例理事会を行いました。また、今年度からは国土交通省補助事業「居住支援法人の取組拡大に向けた調査事業」の事務局も担うこととなりました。不動産・福祉・行政・有識者を交えた国土交通省との協議を進めています。

全国居住支援法人協議会　会員数

2026 年 10 月 15 日時点

種別	会員数
1号会員	128 団体
2号会員	240 団体
賛助会員	団体 12 団体、個人 44 名
合計 424 会員（個人含む）	

居住支援研修会のご案内

本研修会は、居住支援法人に加え、居住支援に取り組む行政・団体も意識した全般的な学びの場として開催いたします。居住支援法人をはじめ福祉や不動産事業者、行政関係者等どなたでもご参加いただけます。



【日程】

第1回	11月9日	（月）	13～16時
第2回	11月18日	（水）	13～16時
第3回	12月4日	（金）	13～16時

申込方法や詳細は全国居住支援法人協議会のホームページでご確認頂けます。
詳しくはこちら。

若者支援事業

つながりインターンシップ@協同

　各種協同組合が参画する大学生等向けインターンシップです。

　5大学から 11 名の学生が参加しました。今年度は日本労働組合総連合会（連合）「愛のカンパ」の助成を受けています。7 月の事前学習会から始まり、夏休み中の実習を経て、10 月 17 日に「修了報告会」を開催しました。



10 月 17 日「修了報告会」の様子

パルシステム若者応援基金 事務局

　パルシステム若者応援基金の事務局の一部を担っています。現在は 77 名の奨学生に対する支援が行われており、弊法人では各地で学生をサポートする「伴走支援団体」と連携し、上期の報告書の作成等を行っています。

首都圏若者サポートネットワーク

　主に社会的養護下で育った若者の生活や就労を支援する取り組みです。

　生活クラブ組合員からのカンパや一般からのクラウドファンディングを通じて基金を集め、若者支援の団体への助成に取り組んでいます。弊法人では、体験就労プログラムの実施を担っており、今期はこの取り組みについての動画も制作しました。

動画の詳細は
こちらから

お知らせ―新しいご寄付の方法について―

　平素より、弊法人へのご支援・ご協力を頂きありがとうございます。この度、非営利組織向け資金調達システム「シンカブル（Syncable）」を導入いたしました。これにより、オンラインで簡単にご寄付をいただけるようになりました（サイトへの登録不要）。

ご寄付の方法

こちらの二次元バーコード
もしくは下記リンクにアクセス。
https://syncable.biz/associate/kurashi-support-with



くらしサポート・ウィズの
団体ページに移動します。
下にスクロール。



「支援する」をクリック。
決済方法などを選択し
必要項目を記入し、最後に「支援を実行する」

頂いた支援金は、くらしの相談から見える課題に対して行う新しいチャレンジなどに活用させていただきます。

賛助会員募集中

　個人　一口　1,000 円／年
　法人　一口 10,000 円／年

＊会員の皆さんへは、総会議案書でウィズの詳しい事業報告をお届けします。

くらしサポート・ウィズの
最新情報はホームページ
をご覧ください。